



Atsuko Kudo Mail Magazine 195

2013.06.12

●いのちの木

お元気でいらっしゃいますか？

ハンブルクは、気温はそれほど高くはありませんが、さわやかな初夏の気候が続いています。

●ノアの箱舟

先日、「ノアの箱舟」の見学に行っていました！この箱舟は、オランダのヨハン・ヒューバース氏が造られたものですが、その後、人形芝居家のアード・ペータース氏が買い取りました。ノアが作った箱舟は、長さ 300 キュビト、幅 50 キュビト、高さ 30 キュビトでした。1 キュビトを 44.5 cm として計算すると、133.5m×22.3 m×13.4m になります。ペータース氏の箱舟は、70m×10m×13m と、長さ、幅は実際の約半分、それでもかなりの大きさでした。

ペータース氏は、小さな子供たちでも分かるように聖書の世界を目で見てもらおうと、アーティストたちと綿密な話し合いを重ねながら人形の表情やインテリアデザインを考え、天地創造からイエスの十字架の贖いに至るまでのバイブル・ストーリーを、4 階建ての船の中に設置しました。そして、この「ノアの箱舟」を別名「スイミング・バイブル」と命名し、現在、ドイツ各地の港町を巡っています。





(スイミング・バイブル)

この「スイミング・バイブル」は、実によく考えて作られていました。船に入ると、中央に、巨大な大木が地階から最上階まで突き抜けて据えられています。これが、ペーターズ氏のテーマである「いのちの木」です。そして、最上階の端のアダムとエバの展示場には「善悪の知識の木」がありました。一番上で、善悪の知識の木から取って食べたアダムとエバが、蛇が「あなたがたは神のようになる」と言ったように、罪が入って自分たちが神のようになった姿を象徴しているようでした。



それから、アベルとカインのささげもの、ノアとその妻、アブラハムとイサク、モーセと十戒、ダビテとゴリヤテ、ソロモンと異教徒の妻たちの絢爛豪華な部屋を通過して下のうす暗い地階に行くと、そこは、キリストの誕生と受難のコーナーでした。アダムとエバが罪を犯して以来、神を忘れて自分を神のように高くした私たちを贖う方が、身を低くして貧しい家畜小屋に生まれ、十字架にかかってくださったことを象徴していました。



そこを通ると、いくつかの鏡が置かれていました。自分の姿が太く見える鏡、長く見える鏡、歪んで見える鏡・・・そして最後に、ハート型をした鏡が、十字架の前に置かれていました。十字架を通して初めて、私たちは、ほんとうの自分の姿が見えてくる・・・ほんとうに、素晴らしい聖書の世界が説明された「スイミング・バイブル」でした。

(いのちの木)

再び一階の「いのちの木」の根元に戻った時、その横には、実に美しい、腰ぐらいまで高さの壇の木の切り株が置かれていました。その横には、「イエスは切り株に鎖でつながれ、鞭打ちの刑を受けた」、という説明書きがありました。

私は「木」の意味を思いめぐらしました。イエス様は、「善悪の知識の木」によって人類が受けた罪と死ののろいから解放して下さるために、ご自身が木にかけられて、のろわれた者となって下さいました(木にかけられる者はみなのもろわれる。ガラテヤ 3:13/申命記 21:23)。しかし、イエス様がかけられたのは、十字架だけではありませんでした。私たちの肉、霊、たましいの弱さを癒すために、あの恐ろしく激しい鞭打ちの刑を受けた切り株も、イエス様がかけられた(つながれた)もうひとつの木だったことを思いました。

イエス様の受難の苦しみが迫りました。かつて、神が、「見よ。人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、彼が、手を伸ばし、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。」(創 3:22) とエデンの園から追い出したアダムの子どものために、今、神ご自身が「いのちの木」となって下さいました。この木から食べる者は永遠に生きるのです！(わたしはいのちのパンです。ヨハネ 6:35,48)



そして、その翌週の日曜礼拝では、聖餐のパンを、キリストの御からだである教会の兄弟姉妹たちと、ことさらに深い感慨と感謝と喜びをもって分かちあったのでした。

最後に、私たちの教会で愛唱している「いのちの木」(Der Lebensbaum)という讃美歌を紹介させていただきます。

いのちの木 (Der Lebensbaum)

1. 十字架を見つめよ、愛ゆえにすべてを献げて

死なれた「いのちの君」なる方を

(リフレーン)

このお方はご自身をいけにえとして献げ、

十字架を、いのちの木に変えてくださった

2. 十字架を見つめよ、恵みを語る十字架を

罪を知らない神が、私のためにそこで苦しまれた

(リフレーン)

3. 十字架を見つめよ、傷なき小羊が咎を負い、

赦しを与えてくださった (リフレーン)

4. 十字架を見つめよ、私を解放してくださったお方を

彼の打ち傷によって私は癒された (リフレーン)



~~~~~

### (近況)

5月は、主に心の内側を深く探られ、心碎かれて悔い改める日々が続きました。すべての分野で主に従えるように、私の生活すべてが主のものとなりますようにと心から祈りました。6月に入ってから「民数記」を通読するようになりましたが、5月の祈りの答えー日々の生活と礼拝のあり方、献げ方(献金も含めて)、祈り方などを、主はこの書を通して与えてくださり、目からうろこの毎日です。「モーセ五書」の素晴らしさを改めて味わっています。秋の活動が始まる前までに、「レビ記」と「申命記」を通読できればと願っているところです。

### (お知らせ)

「讃美セミナー」は、現在、11月の下旬に、大阪、東京で開催したいと計画しています。日程がはっきりしましたら、メルマガを受信されている皆様には、先にメールでご案内させていただきたいと思っています。どうぞ、全ての準備を、主の導きの中で進めて行くことが出来ますようお祈りください。

皆様の上に、主のあふれる恵みと祝福がありますように！



Atsuko Kudo